



土木施工管理システム [エクストレンド武蔵 Ver.17]

セットアップガイド

新規導入編

EX-TREND武蔵 を新規にセットアップする手順を解説します。

1. セットアップの前に	2
1-1. プロテクトタイプを確認します	2
2. プログラムの一括インストール	4
2-1. ネット認証（占有）の場合	4
2-2. ネット認証（LAN）の場合	7
[補足] ネット認証LANサーバーの機能	12
2-3. ネット認証（共有）の場合	13
2-4. USBプロテクト（SNS-W）の場合	16
2-5. USBプロテクト（SNS-LAN-X）の場合	19
[補足] SNS-LAN-Xサーバーの機能	25
3. その他のプログラムのインストール	26
3-1. TREND-ONE BTXA⇒建設CADコンバーターのインストール	26
[補足] 「Antenna House PDF Driver」とは	27
[補足] 「積算連携ツール」とは	27
4. プログラムの起動とネット認証ライセンスの認証	28
4-1. ネット認証（占有）の認証	28
4-2. ネット認証（共有）の認証	30
4-3. FCコンシェルジュの登録	30
[補足] ネット認証（占有）の解除方法	31
[補足] ネット認証（占有）の自動認証/解除の設定方法	32
[補足] ネット認証ライセンスのQ&A	33
[補足] 起動時にプロテクトの選択画面が表示された場合は	34
[補足] データをバックアップするには	35
[補足] FCコンシェルジュとは	35
5. 入力専用ライセンスの初期設定	36
5-1. ライセンス情報の取得	36
[付録] 入力専用ライセンスの使い方	37

「施工計画書作成支援」および「書類作成支援」を使用するためには、あらかじめ以下のバージョンの Excel がインストールされている必要があります。

- Microsoft Office Excel 2007 SP3以降
- Microsoft Office Excel 2010（32ビット版）
- Microsoft Office Excel 2013（32ビット版）
- Microsoft Office Excel 2016（32ビット版）

1 セットアップの前に

1-1. プロテクトタイプを確認します

EX-TREND武蔵シリーズのプロテクトには次の5種類があります。

お持ちのタイプを確認し、ネット認証ライセンス証書 または USBプロテクト を準備して、各セットアップの手順に進みます。

● ネット認証ライセンス(占有)

ネット認証ライセンス証書 (占有)

P.4へ

● ネット認証ライセンス(LAN)

ネット認証ライセンス証書 (LAN)

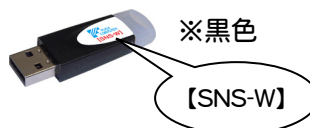
P.7へ

● ネット認証ライセンス(共有)

ネット認証ライセンス証書 (共有)

P.13へ

● USBプロテクト (SNS-W)



P.16へ

※ まだ装着しないでください。

● USBプロテクト (SNS-LAN-X)



P.19へ

※ まだ装着しないでください。

※ プロテクトタイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○



Check

セットアップの前に確認してください

- セットアップするには、「コンピューターの管理者 (Administrators)」のアカウントでサインイン (ログオン) している必要があります。
- お使いのウイルス対策アプリによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウイルス対策アプリなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップをおこないます。
- セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存してください。また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

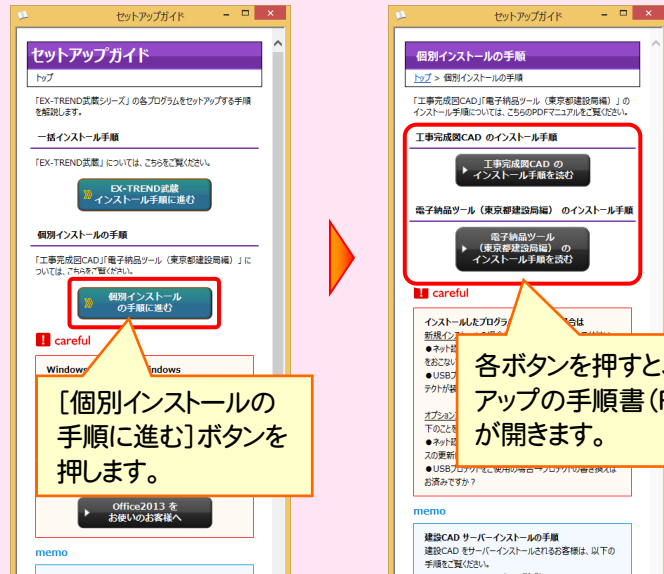
注意

個別インストールのプログラムについては、セットアップガイド(PDF)を参照してください

一括インストールでインストールされないプログラム

- 工事完成図CAD
- 電子納品ツール(東京都建設局編)

のインストール手順については、「インストールDVD」の起動時に表示される「セットアップガイド」から、「個別インストールの手順」を参照してください。



注意

建設CADの「スタンドアロンインストール」と「サーバークライアントインストール」について

建設CADには、「スタンドアロンインストール」と「サーバークライアントインストール」の、2種類のインストール方法があります。

－ スタンドアロンインストールとは － (通常の一括インストールでは、こちらになります。)

すべてのファイルを1台のコンピュータにインストールします。

1台のコンピュータで設定ファイルを管理します。



－ サーバークライアントインストールとは －

設定ファイルをサーバーで管理します。



※ 「サーバークライアントインストール」のインストール手順については、「インストールDVD」の起動時に表示される「セットアップガイド」から、「個別インストールの手順」の「建設CADサーバーインストールの手順」(PDF)を参照してください。

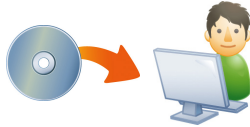
※ 設定ファイルがサーバーで管理されるのは、「建設CAD」のみです。建設CAD以外のプログラム(「インデックス」や「写真管理」など)の設定ファイルは、各クライアントで管理されます。

2 プログラムの一括インストール

2-1. ネット認証(占有)の場合

「ネット認証ライセンス(占有)」をお使いになる場合の、一括インストール手順です。

1. コンピューターに「インストールDVD」をセットします。



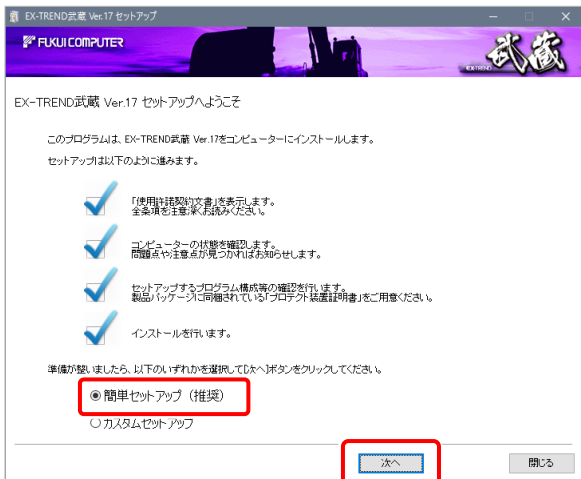
2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。



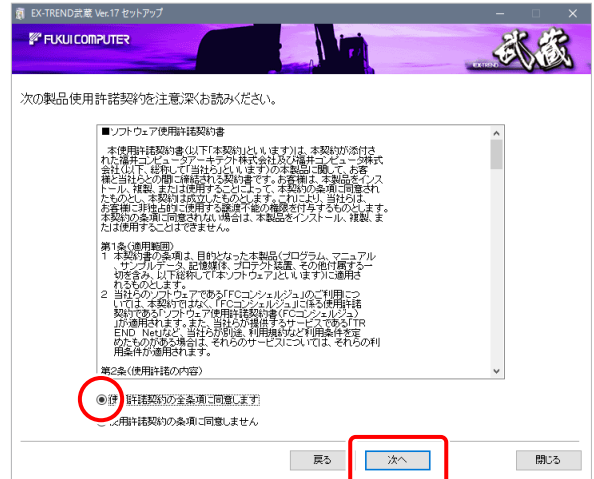
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールします。

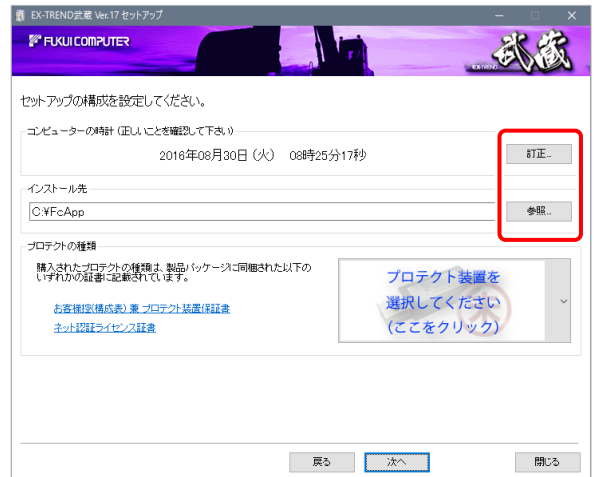
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



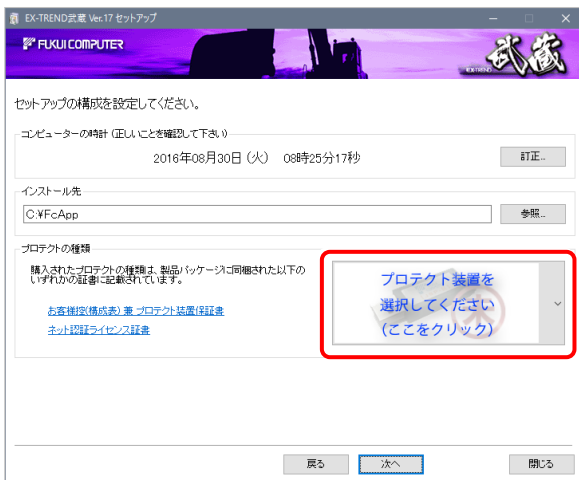
コンピューターの時計と、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更します。



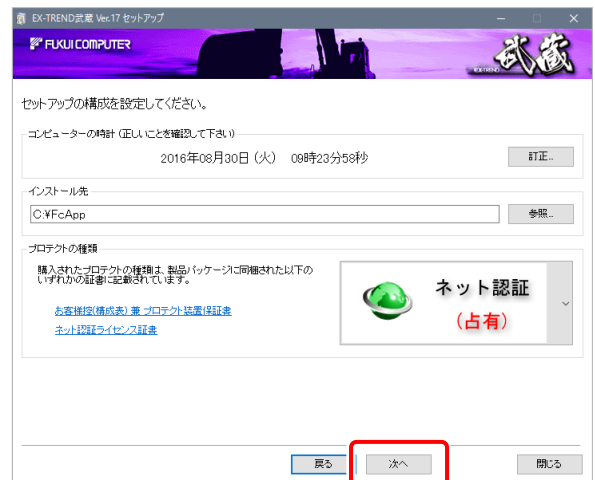
※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



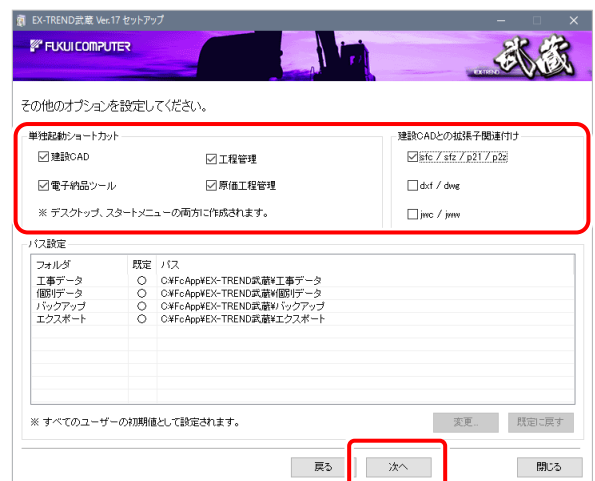
内容を確認して、[次へ]を押します。



「ネット認証 (占有)」を選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
- ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」

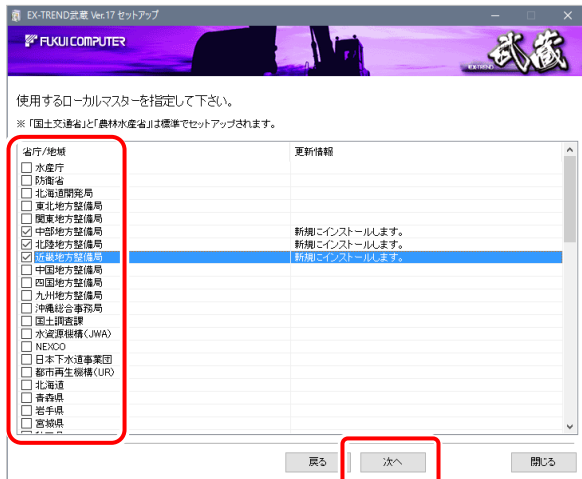
でインストールすることをお勧めします。

(次ページへ続く)

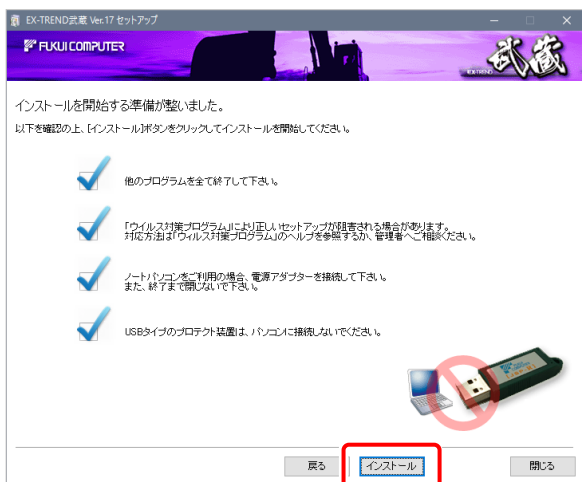
2. プログラムの一括インストール - ネット認証(占有)の場合

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



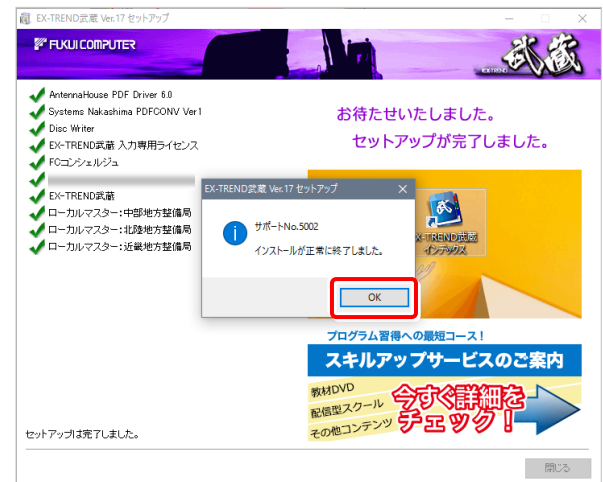
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動後、インストールの続きをおこないます。

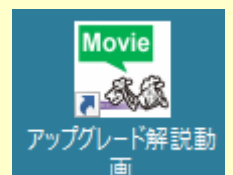


プログラムの一括インストールは完了です。

続いて26ページ「3. その他のプログラムのインストール」に進みます。

P.26へ

プログラムのインストールをおこなうと、デスクトップに「アップグレード解説動画」のアイコンが作成されます。ダブルクリックして開くと、Ver.17で追加・変更された機能の解説動画を見ることができます。ぜひご利用ください。



2-2. ネット認証 (LAN) の場合

「ネット認証ライセンス(LAN)」をお使いになる場合の、一括インストール手順です。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール(サーバー)

使用するサーバーに、「ネット認証LANサーバー」をインストールします。
※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

1. ネット認証ライセンス(LAN)で使用するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。

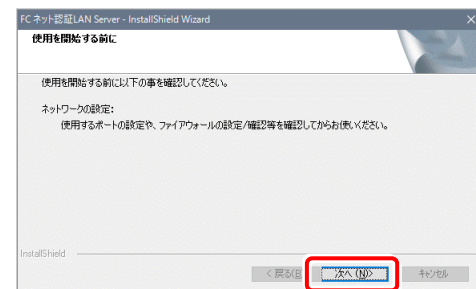
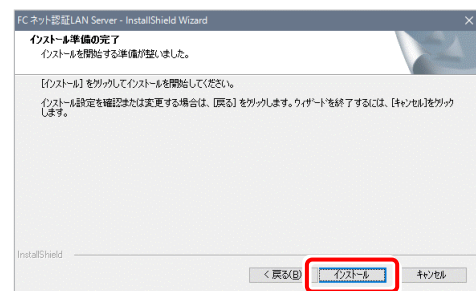
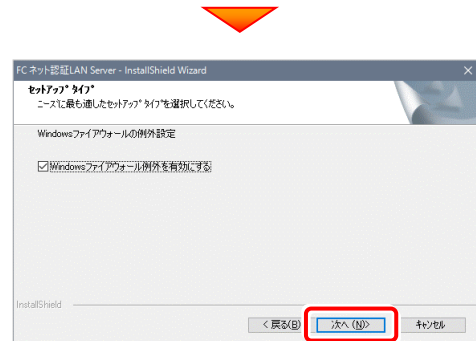
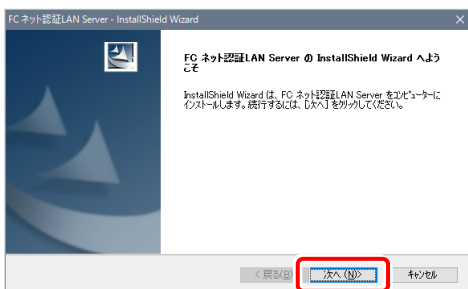


2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。

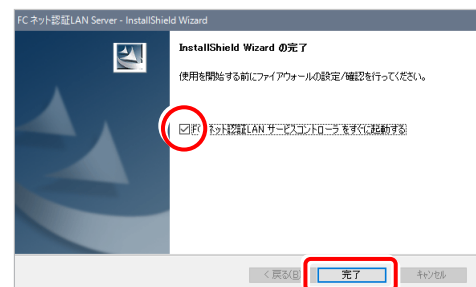


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | プロダクトIDの認証(サーバー)

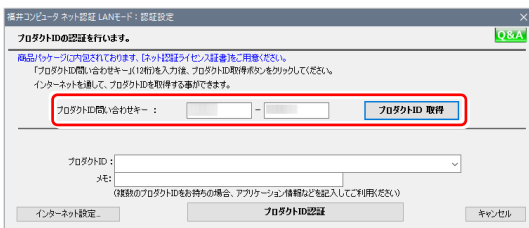
インターネットを通して、プロダクトIDの認証を行います。この処理により プロダクトIDに関連付けられたライセンスを使用できるようになります。

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。

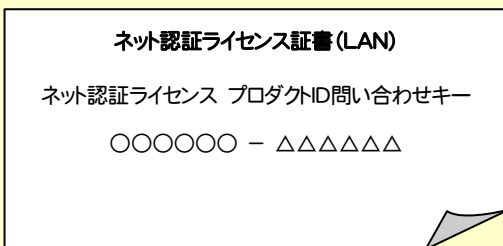


※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows10 : スタートメニューの[すべてのアプリ]
Windows8.1 : スタート画面の「アプリ画面」
Windows7 : スタートメニューの[すべてのプログラム]
 から、[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]を起動してください。

2. [認証設定]画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



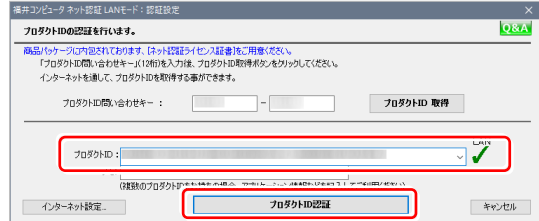
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書(LAN)」に記載されています。



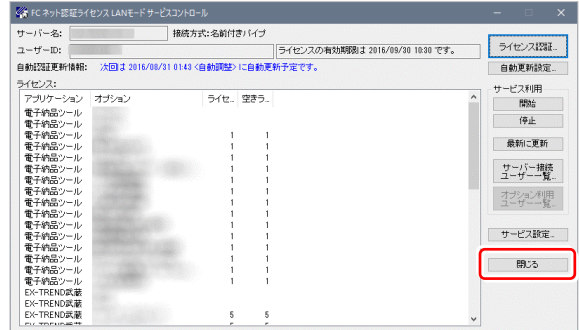
※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証]を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



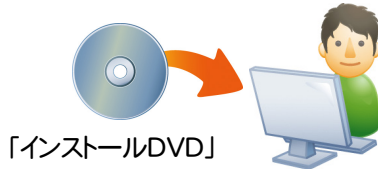
(次ページ「Step3」へ進みます)

※ ネット認証LANサーバーの機能については、P.12「[補足] ネット認証LANサーバーの機能」を参照してください。

Step3 | プログラムの一括インストール(クライアント)

EX-TREND武蔵を実行するコンピューター(クライアント)に、プログラムを一括インストールします。

1. コンピューター(クライアント)に「インストールDVD」をセットします。

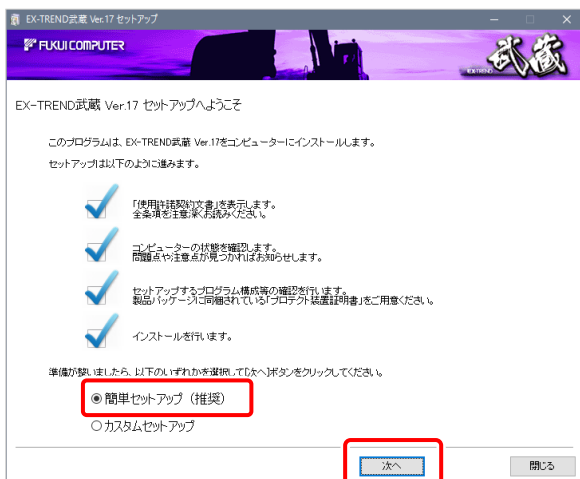


2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。

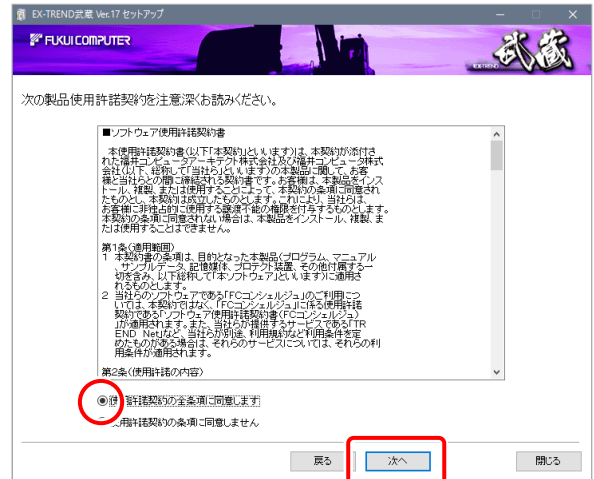


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

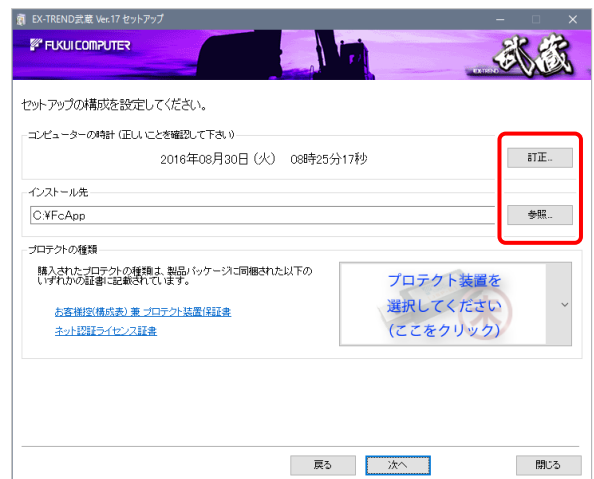
3. 表示される画面に従って、インストールします。
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピューターの時計、インストール先フォルダを確認します。必要があれば、変更します。

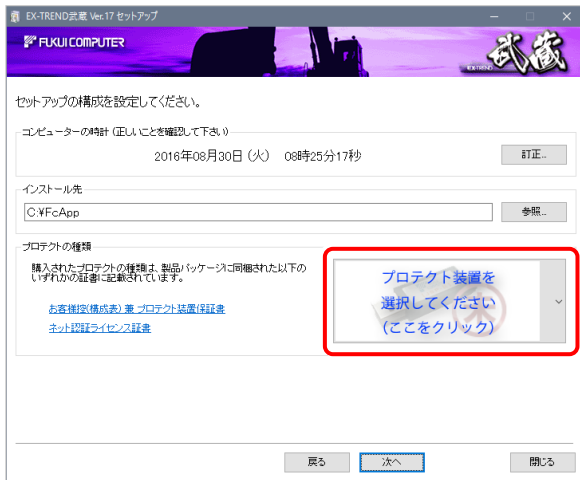


※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

2. プログラムの一括インストール - ネット認証(LAN)の場合

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



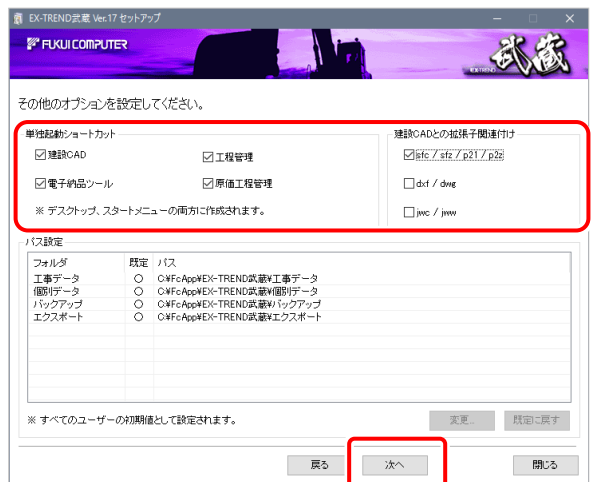
内容を確認して、[次へ]を押します。



「ネット認証 (LAN)」を選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



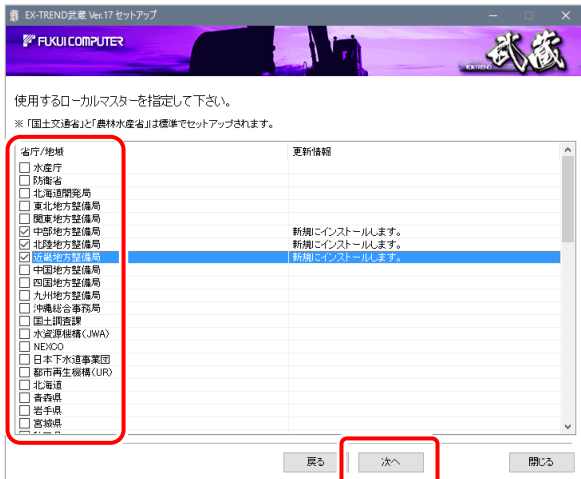
※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
 - ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

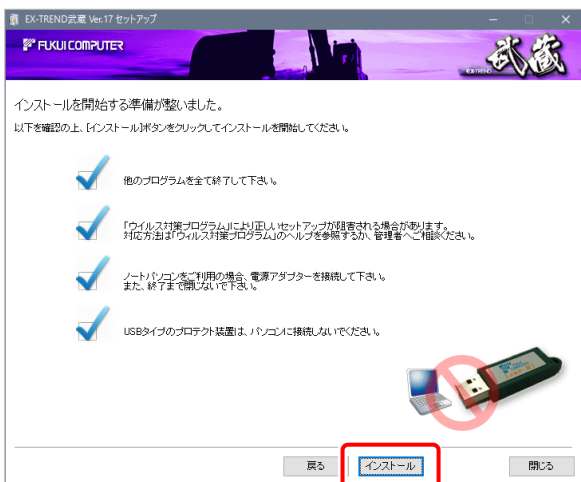
(次ページへ続く)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

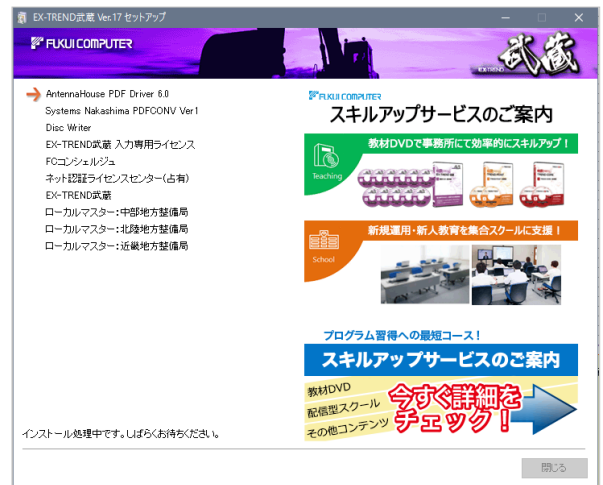
設定を終えたら、[次へ]を押します。



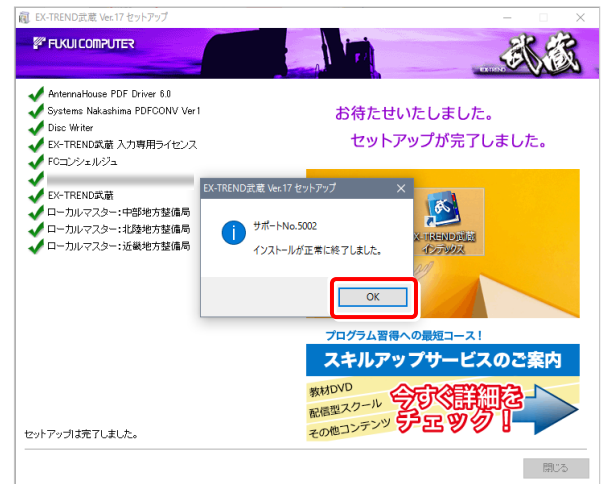
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動後、インストールの続きをおこないます。



プログラムの一括インストールは完了です。
続いて26ページ「3. その他のプログラムのインストール」に進みます。

P.26へ

プログラムのインストールをおこなうと、デスクトップに「アップグレード解説動画」のアイコンが作成されます。ダブルクリックして開くと、Ver.17で追加・変更された機能の解説動画を見ることができます。ぜひご利用ください。

【補足】 ネット認証LANサーバーの機能

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' application. It includes a top bar with server name and user ID, a license table, and a right-hand control panel. A secondary 'サービス設定' (Service Settings) dialog is also shown at the bottom.

【サーバー名】
サーバーのコンピューター名が表示されます。

【ユーザーID】
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

【ライセンス数】
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

【空きライセンス数】
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

【サービス設定】
接続設定やログファイルを設定します。
【接続】タブ
接続プロトコルを設定します。
【使用状況ログ】タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

【ライセンス認証】
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

【自動更新設定】
認証の自動更新処理について設定します。

【開始】
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

【停止】
サービスを停止します。

【最新に更新】
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

【サーバー接続ユーザー一覧】
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

【オプション利用ユーザー一覧】
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

- 【使用状況ログ】には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、

1. 【ログの出力】チェックボックスをオンにし、【パス】にログファイルの出力を設定（【間隔】と【最大履歴数】は適宜に設定）。
2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

2-3. ネット認証(共有)の場合

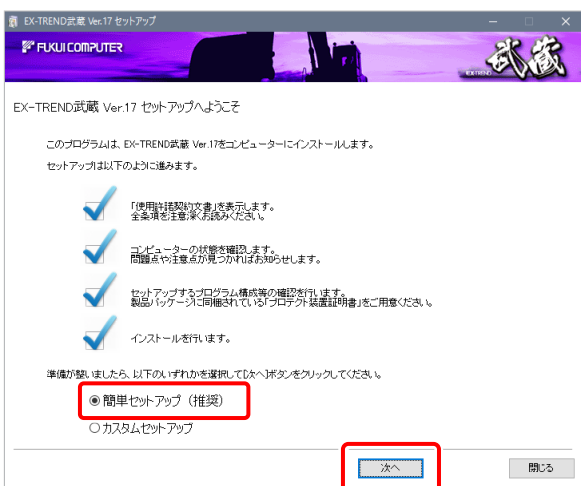
「ネット認証ライセンス(共有)」をお使いになる場合の、一括インストール手順です。

1. コンピューターに「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。

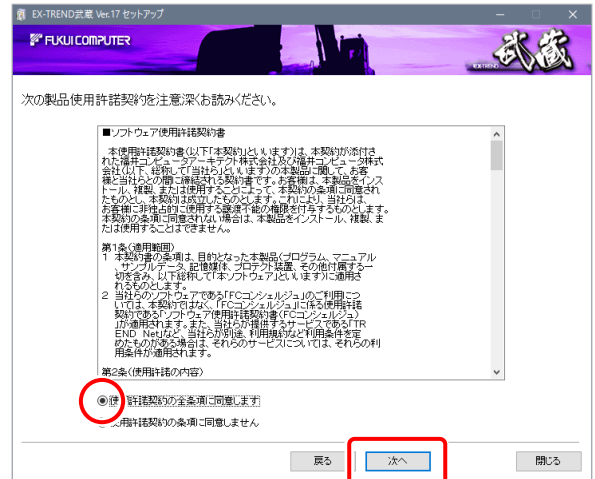


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

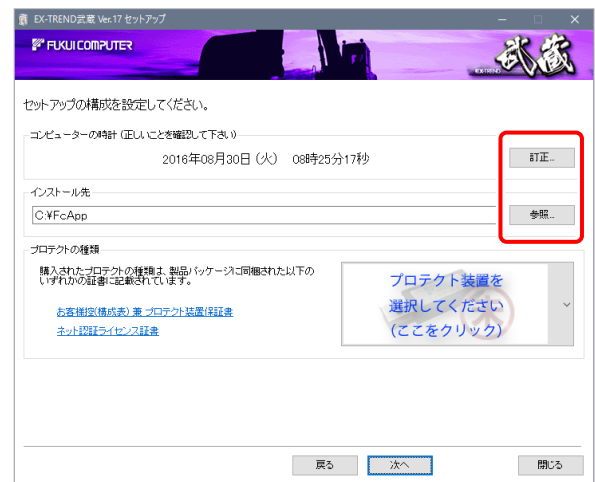
3. 表示される画面に従って、インストールします。
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピューターの時計、インストール先フォルダを確認します。必要があれば、変更します。

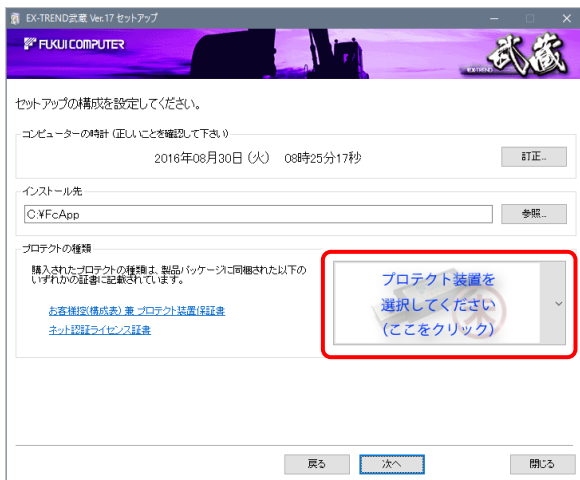


※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

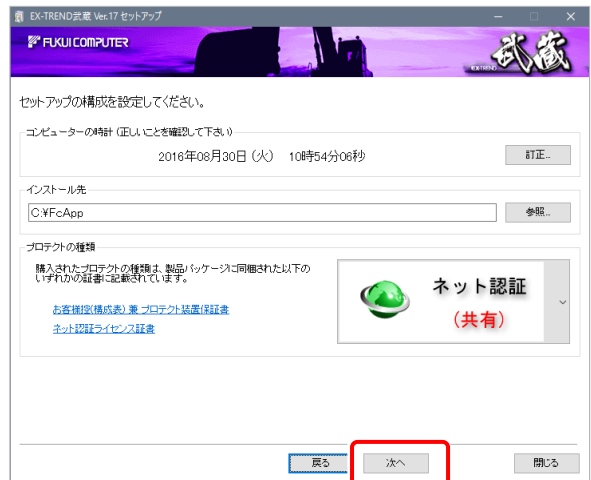
(次ページへ続く)

2. プログラムの一括インストール - ネット認証(共有)の場合

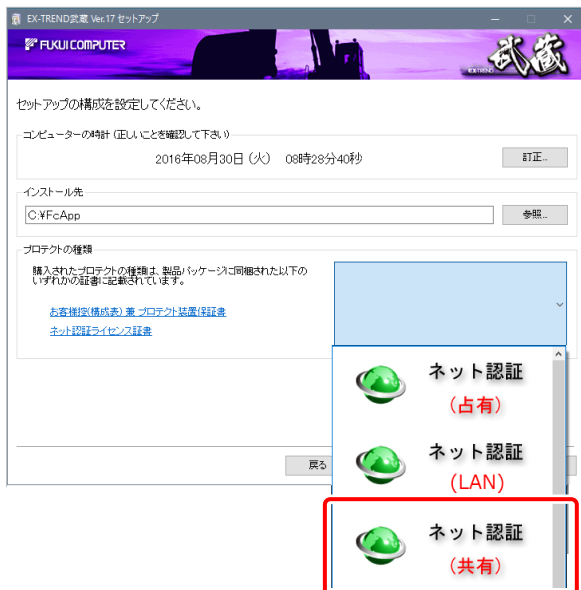
[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



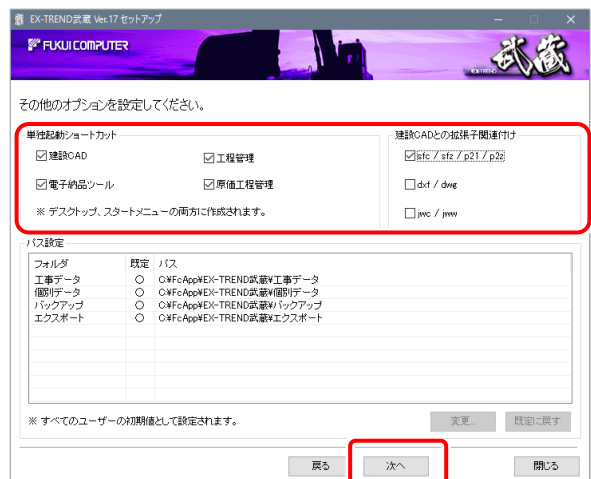
内容を確認して、[次へ]を押します。



「ネット認証 (共有)」を選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



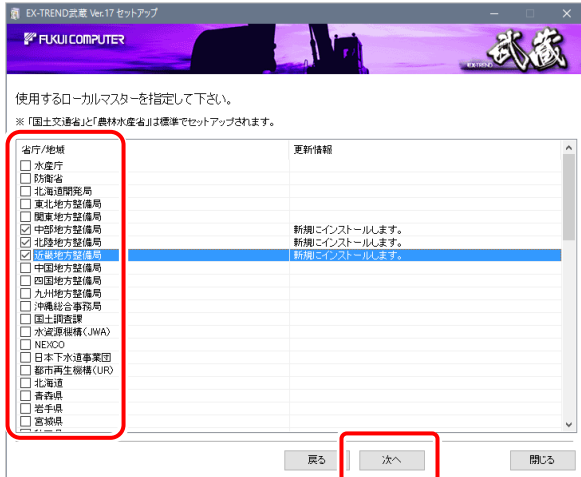
※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
 - ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

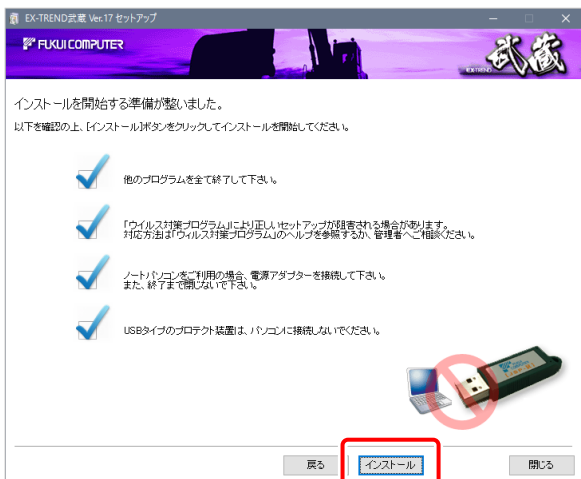
(次ページへ続く)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

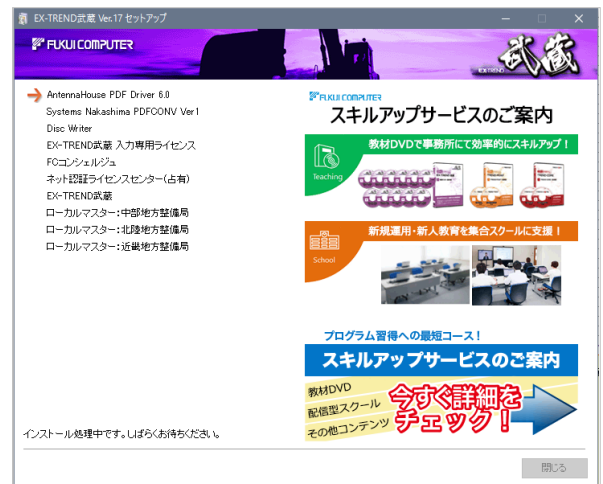
設定を終えたら、[次へ]を押します。



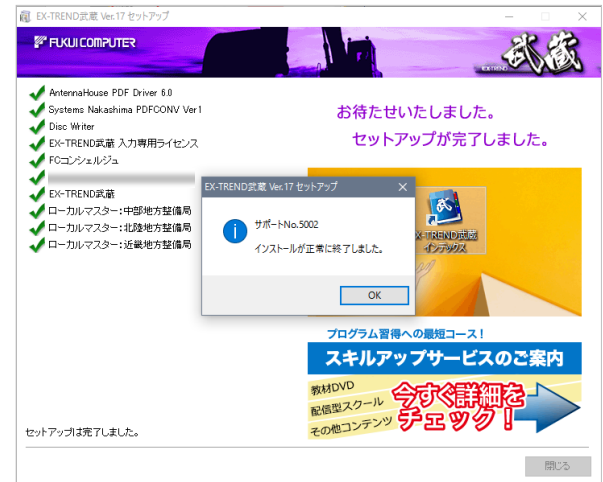
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動後、インストールの続きをおこないます。



プログラムの一括インストールは完了です。
続いて26ページ「3. その他のプログラムのインストール」に進みます。

P.26へ

プログラムのインストールをおこなうと、デスクトップに「アップグレード解説動画」のアイコンが作成されます。ダブルクリックして開くと、Ver.17で追加・変更された機能の解説動画を見ることができます。ぜひご利用ください。



2-4. USBプロテクト (SNS-W) の場合

「USBプロテクト(SNS-W)」をお使いになる場合の、一括インストール手順です。

1. コンピューターに「インストールDVD」をセットします。

※ USBプロテクト(SNS-W)は、まだコンピューターに装着しないでください。

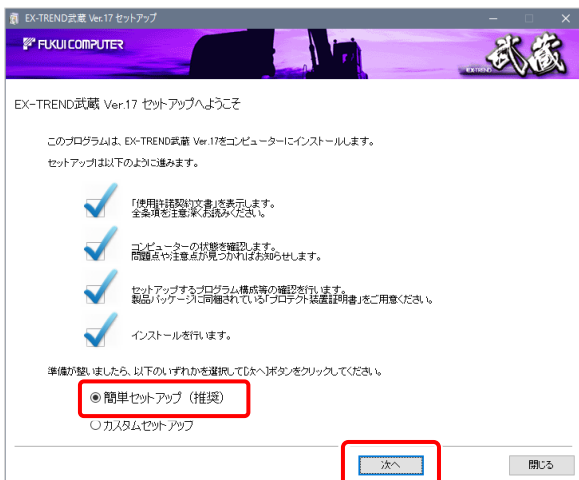
2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。



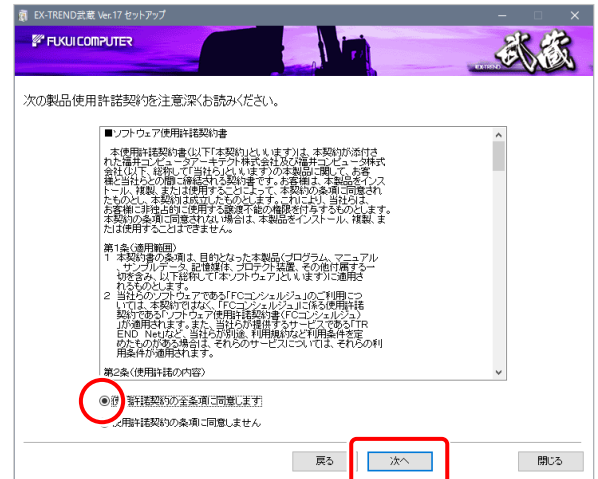
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールします。

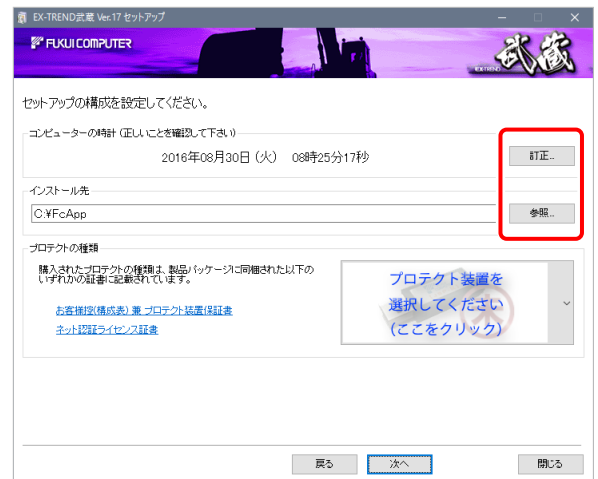
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



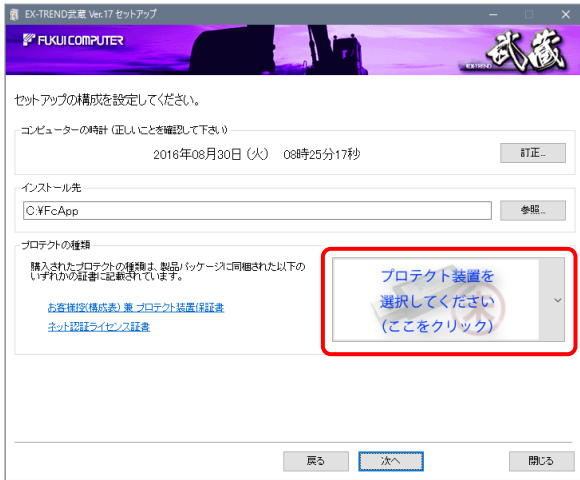
コンピューターの時計、インストール先フォルダを確認します。必要があれば、変更します。



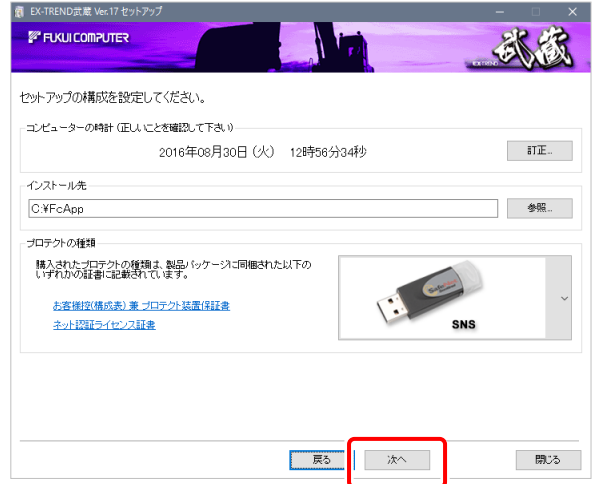
※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



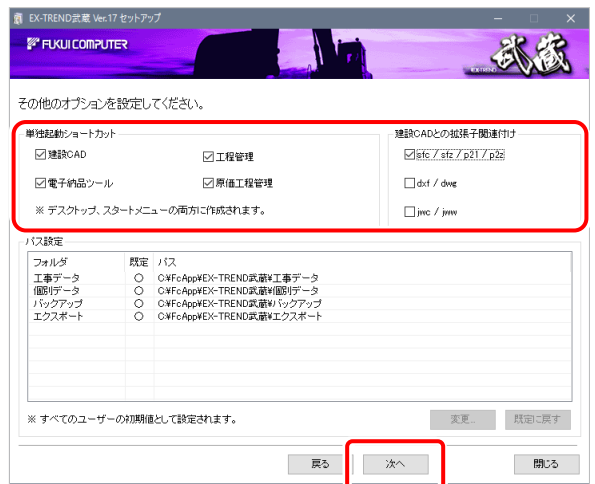
内容を確認して、[次へ]を押します。



「SNS」を選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
- ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」

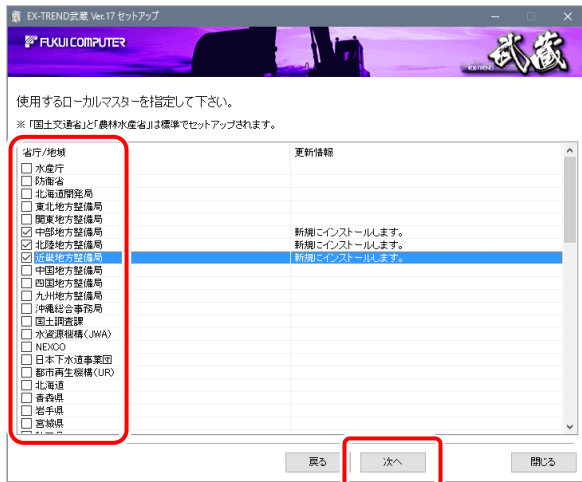
でインストールすることをお勧めします。

(次ページへ続く)

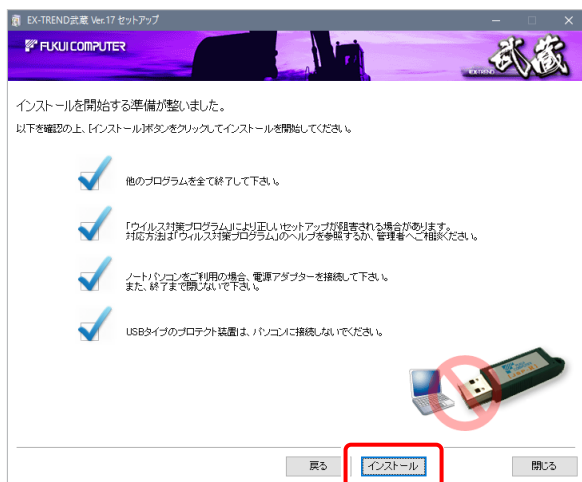
2. プログラムの一括インストール - USBプロテクト(SNS-W)の場合

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



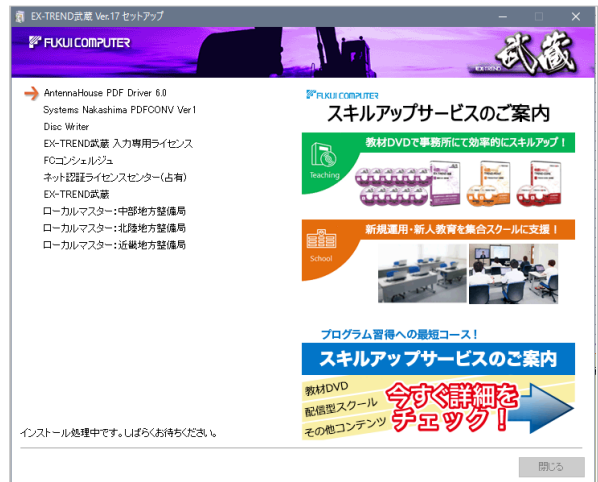
内容を確認して、[インストール]を押します。



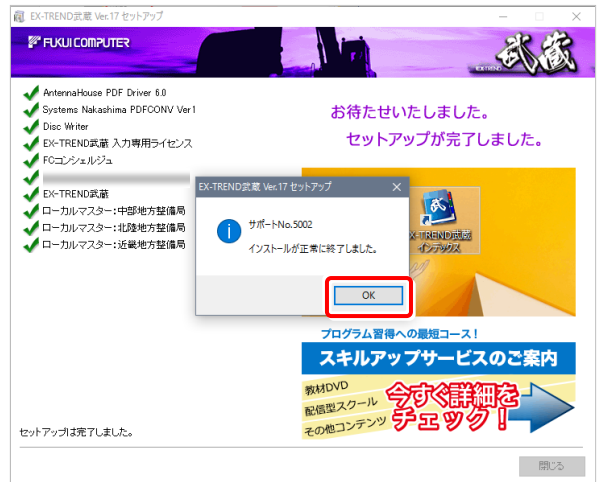
プログラムのインストールをおこなうと、デスクトップに「アップグレード解説動画」のアイコンが作成されます。ダブルクリックして開くと、Ver.17で追加・変更された機能の解説動画を見ることができます。ぜひご利用ください。



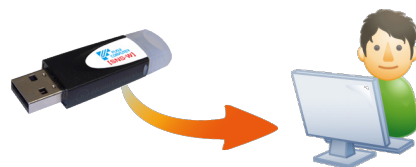
プログラムのインストールが開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動後、インストールの続きをおこないます。



4. コンピューターにUSBプロテクトを装着します。



自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、USBプロテクト(SNS-W)が使用可能になります。

プログラムの一括インストールは完了です。
続いて26ページ「3. その他のプログラムのインストール」に進みます。

P.26へ

2-5. USBプロテクト (SNS-LAN-X) の場合

「USBプロテクト(SNS-LAN-X)」をお使いになる場合の、一括インストール手順です。

Step1 | システムセットアップ(サーバー)

ライセンス管理用のサーバーに、USBプロテクト【SNS-LAN-X】のシステムをインストールします。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



SNS-LAN-X用ライセンスCD (サーバー)

※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。

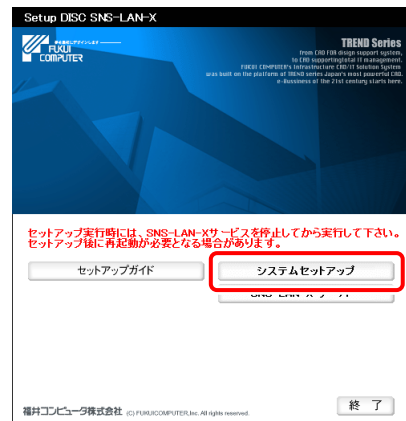


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップや、プログラムの追加購入で、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の「Install.exe」を実行してください。

(次ページへ続く)

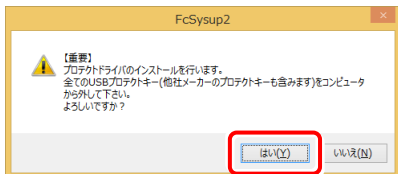
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X] ボタンを押します。



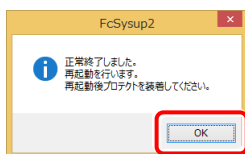
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



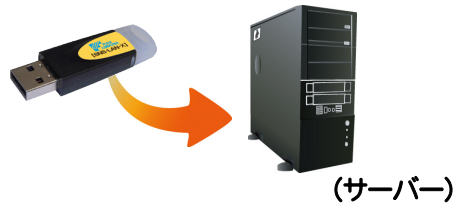
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してサーバーを再起動します。

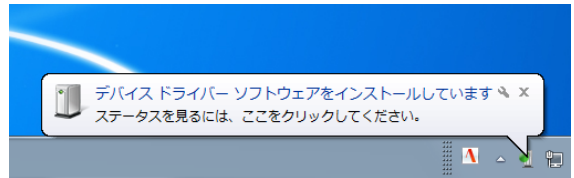


4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



(次ページ「Step2」へ進みます)

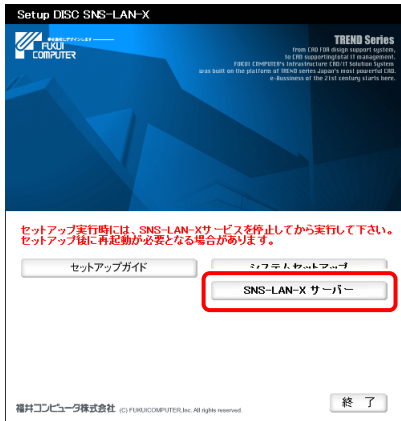
Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール(サーバー)

ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-Xサーバー」をインストールします。
 ※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

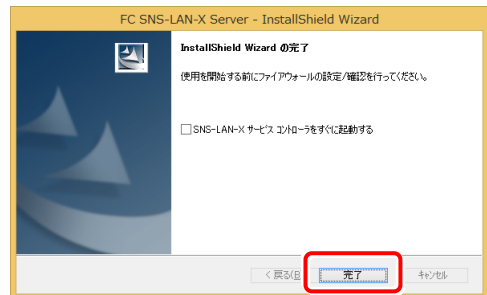
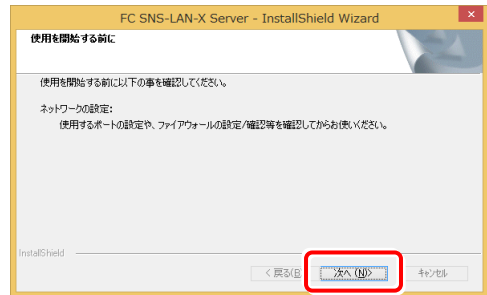
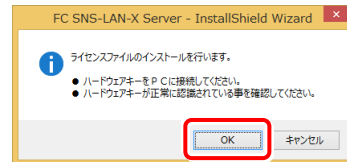
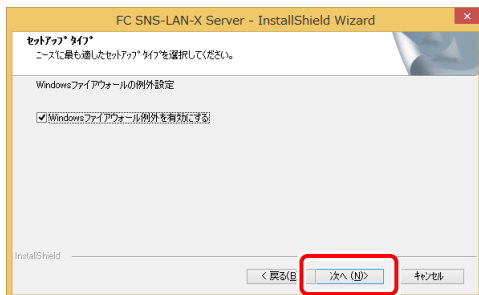
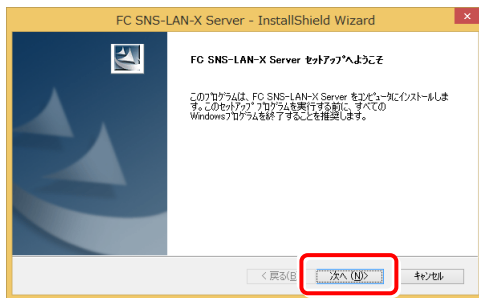
1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



(次ページ「Step3」へ進みます)

※ SNS-LAN-Xサーバーの機能については、
 P.25 「[補足] SNS-LAN-Xサーバーの機能」
 を参照してください。

Step3 | プログラムの一括インストール(クライアント)

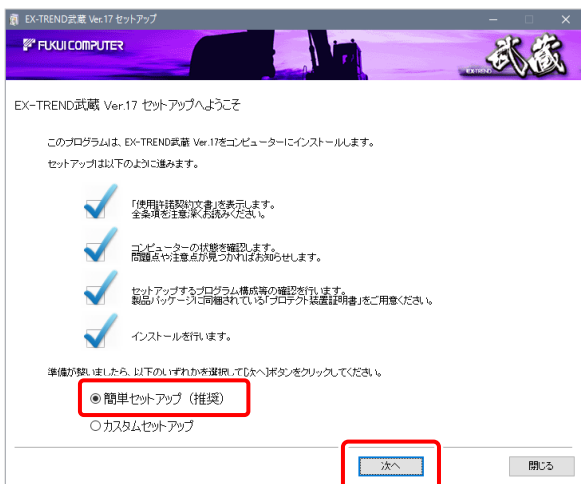
EX-TREND武蔵を実行するコンピューター(クライアント)に、プログラムを一括インストールします。

1. コンピューター(クライアント)に「インストールDVD」をセットします。
2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。

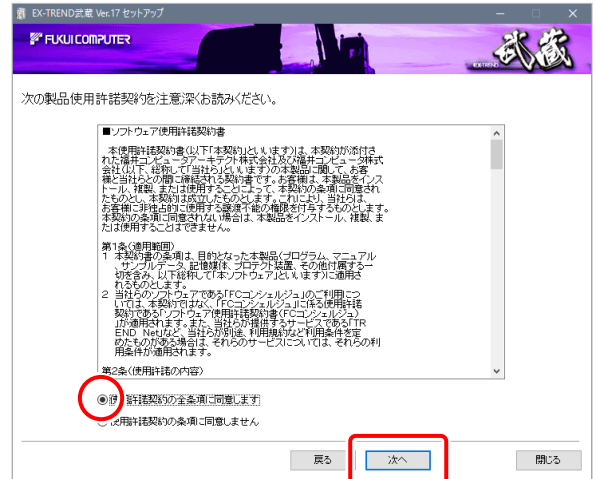


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

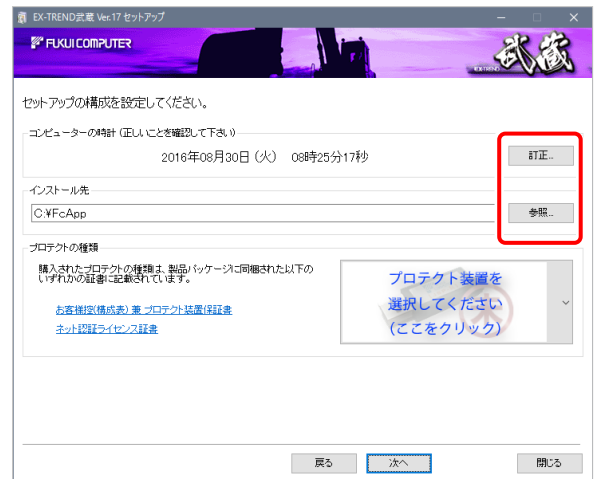
3. 表示される画面に従って、インストールします。
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



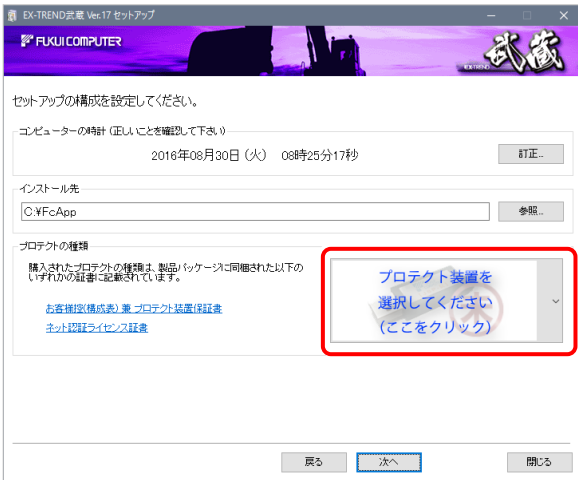
コンピューターの時計、インストール先フォルダを確認します。必要があれば、変更します。



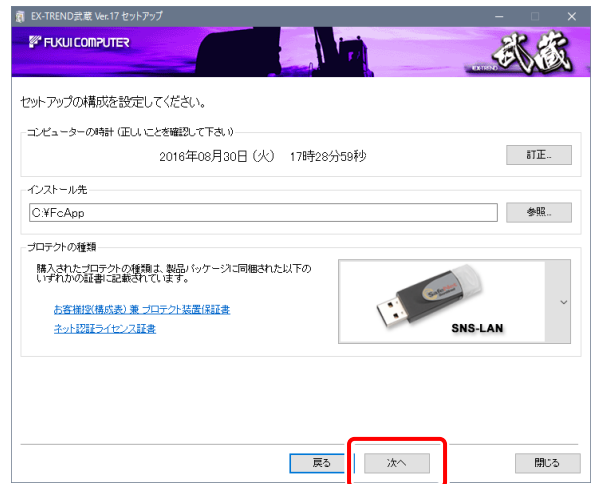
※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



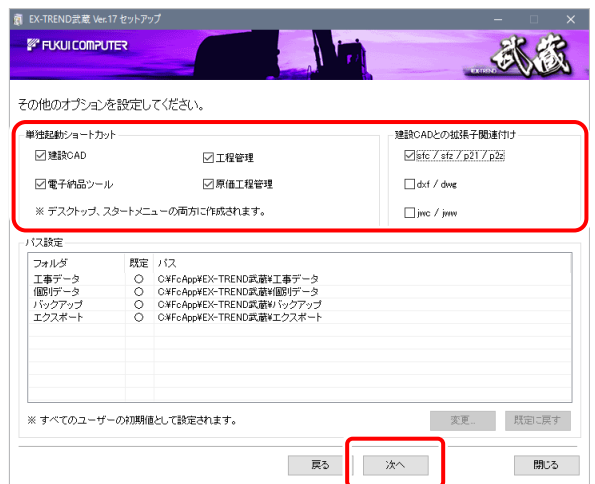
内容を確認して、[次へ]を押します。



「SNS-LAN」を選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
- ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」

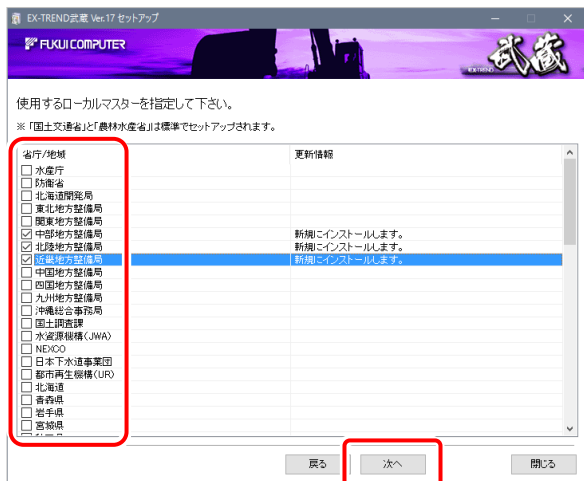
でインストールすることをお勧めします。

(次ページへ続く)

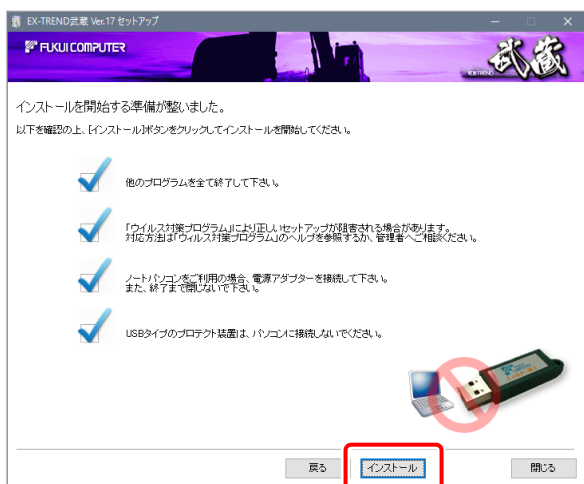
2. プログラムの一括インストール - USBプロテクト(SNS-LAN-X)の場合

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

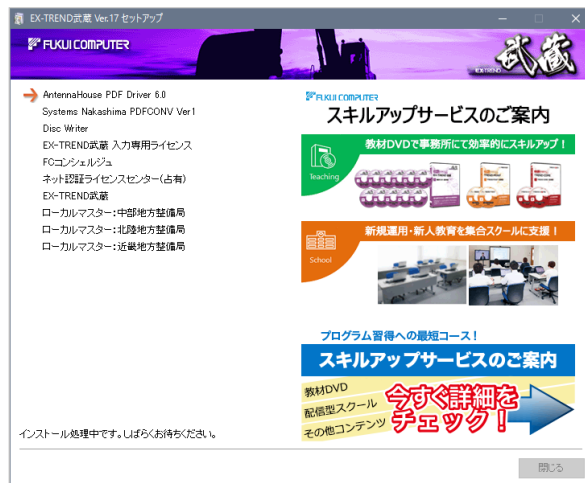
設定を終えたら、[次へ]を押します。



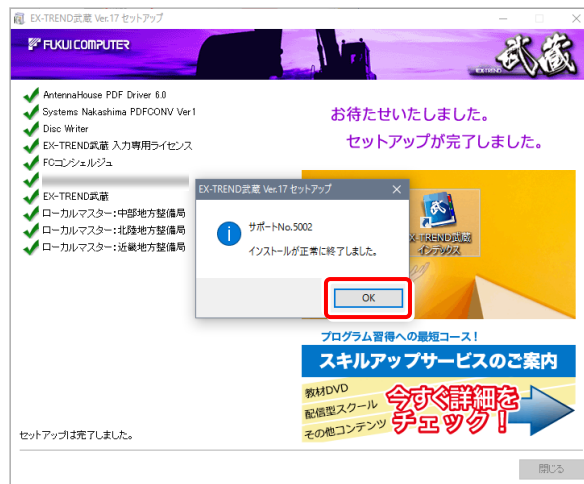
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動後、インストールの続きをおこなってください。



プログラムの一括インストールは完了です。
続いて26ページ「3. その他のプログラムのインストール」に進みます。

P.26へ

プログラムのインストールをおこなうと、デスクトップに「アップグレード解説動画」のアイコンが作成されます。ダブルクリックして開くと、Ver.17で追加・変更された機能の解説動画を見ることができます。ぜひご利用ください。



【補足】 SNS-LAN-Xサーバーの機能

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を実行してください。

【サーバ】
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

【ユーザID】
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

【ライセンス数】
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

【空きライセンス数】
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

【開始】ボタン
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

【停止】ボタン
サービスを停止します。

【更新】ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

【接続ユーザ】ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

【オプション】ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

【接続】タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

【使用状況ログ】
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **【ポート番号】**の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- **【使用状況ログ】**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。(「間隔」と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

3 その他のプログラムのインストール

3-1. TREND-ONE BTXA⇒建設CAD コンバーターのインストール

EX-TREND 武蔵の建設 CAD で、「TREND-ONE」「BLUETREND XA」「BLUETREND V」「BLUETREND Win」「EX-TREND Win」のデータを取り込む可能性のある方は、「TREND-ONE BTXA⇒建設 CAD コンバーター」をインストールします。必要なければインストールしなくても構いません。

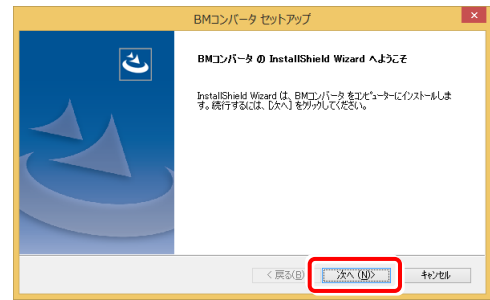
1. インストールDVDの[個別インストール]タブを選択します。



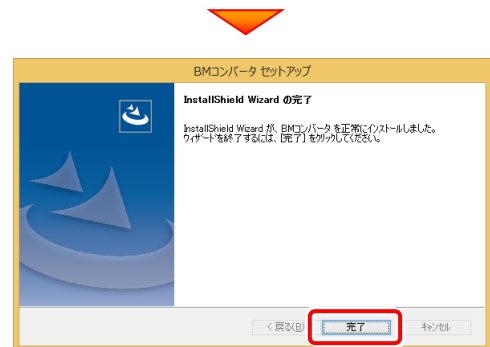
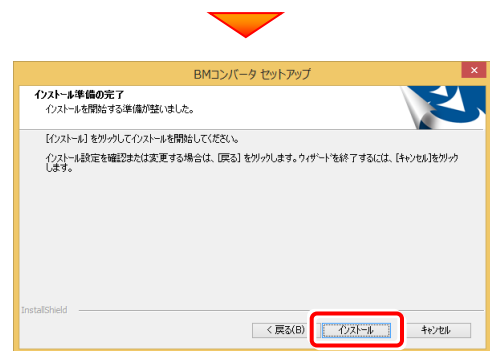
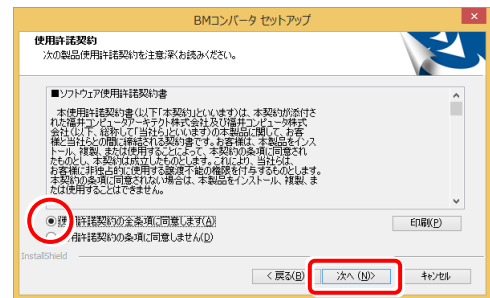
2. [TREND-ONE BTXA⇒建設CAD コンバーター]を押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを行います。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



TREND-ONE BTXA⇒建設CAD コンバーターのインストールは完了です。
 続いて28ページ「4. プログラムの起動とネット認証ライセンスの認証」に進みます。

P.28へ

【補足】「Antenna House PDF Driver」とは

「Antenna House PDF Driver」とは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。

普通のプリンタと同様にアプリケーションの[印刷]コマンドから出力することにより、PDFファイルを作成することができます。

EX-TREND武蔵 を「一括インストール」した場合は、自動的にインストールされます。

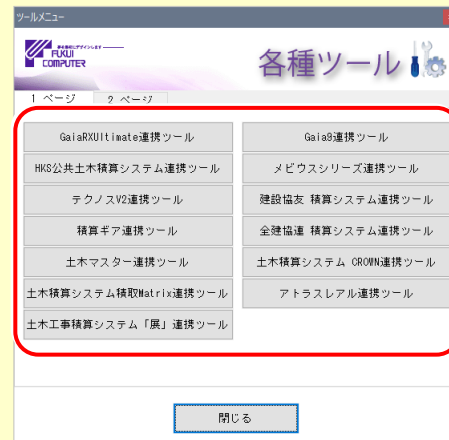
Antenna House PDF Driver
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.



【補足】「積算連携ツール」とは

「積算連携ツール」とは、各社の積算プログラムからEX-TREND武蔵へデータを連携できるように、環境をセットアップするツールです。

ボタンをクリックすると、対応している積算プログラムが一覧表示されますので、お使いの積算プログラムのボタンを押して、セットアップしてください。



対応している積算プログラムは、追加・変更される場合があります。

4 プログラムの起動とネット認証ライセンスの認証

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。ネット認証ライセンス(占有または共有)の場合は、「プロダクトIDの認証」もおこないます。

また「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示された場合は、ユーザー登録もおこなってください。

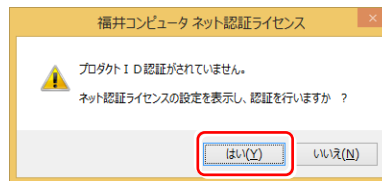
※ プロダクトIDの認証およびFCコンシェルジュのユーザー登録は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. デスクトップの[EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックして起動します。



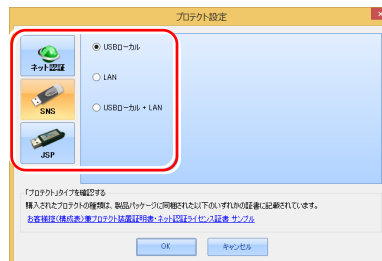
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンスの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.34 を参照してください。

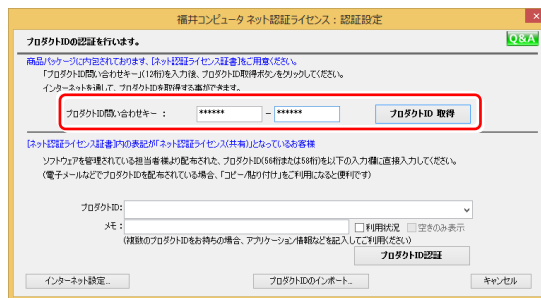


4-1. ネット認証(占有)の認証

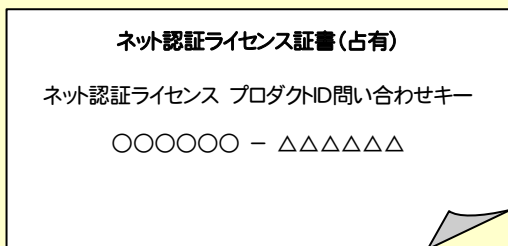
ネット認証ライセンス(占有)の場合の認証手順です。

1. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

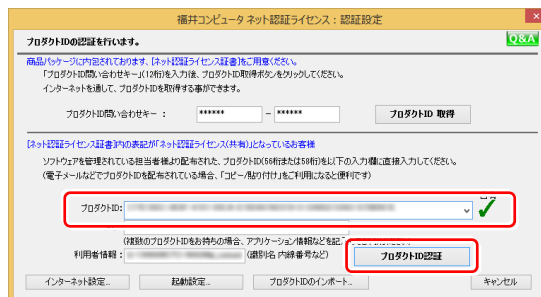
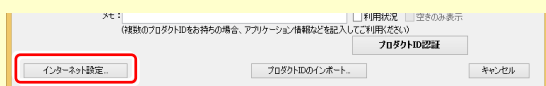
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

2. 「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。(右画面)

お客様のご利用環境に合わせて、「ライセンスの使用方法」と「コンピューターのインターネット環境」を選択してください。

選択した内容により、

- ライセンス認証の設定
 - ・ 製品起動時に自動認証
 - ・ コンピューター起動時に自動認証
 - ・ 手動で認証
- ライセンス認証解除の設定
 - ・ シャットダウン・ログオフ・再起動のときに解除
 - ・ スリープのときに解除

が最適に設定されます。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。
続いて次ページ「4-3.FCコンシェルジュの登録」に進みます。





4-2. ネット認証(共有)の認証

ネット認証ライセンス(共有)の場合の認証手順です。

1. [プロダクトID]に、ソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

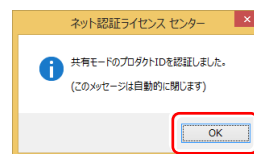
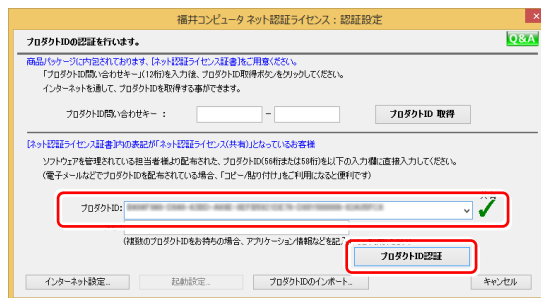
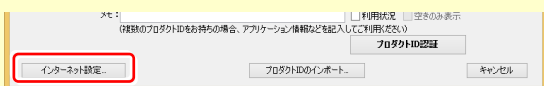
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

○○○○○○○○○-△△△△.....
□□□□□□□-XXXX.....

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。
続いて「4-3.FCコンシェルジュの登録」に進みます。

4-3. FCコンシェルジュの登録

FCコンシェルジュのユーザー登録をおこなうと、福井コンピュータグループが提供する各種WEBサービスをご利用いただくことができます。

※ FCコンシェルジュのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

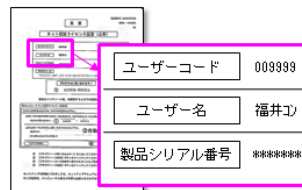
起動時に、FCコンシェルジュのオンラインユーザー登録画面が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。

登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が利用可能になります。

既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

※ 登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は、右図を参照してください。

● 製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



● USBプロテクト表面のシール



プログラムの起動と、ネット認証ライセンスの認証は完了です。
最後に 36ページ「5. 入力専用ライセンスの初期設定」に進みます。

P.36へ

【補足】 ネット認証(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使用したい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

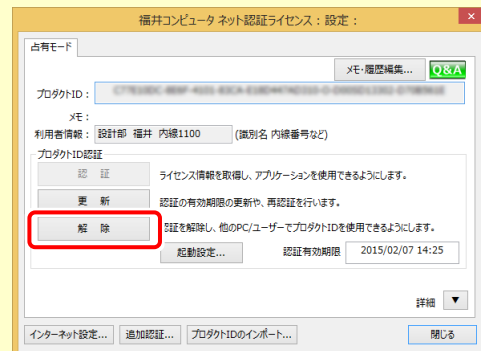
手でネット認証ライセンスを解除したい場合は、以下の手順で解除してください。



FCコンシェルジュを使用している場合



デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



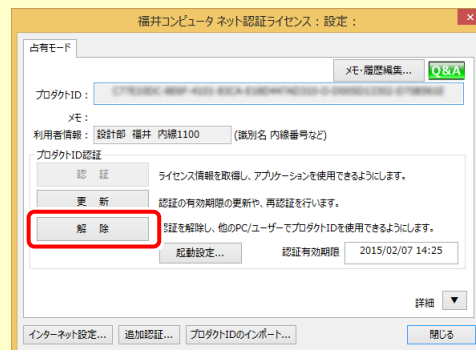
ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

FCコンシェルジュを使用していない場合



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

【補足】 ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

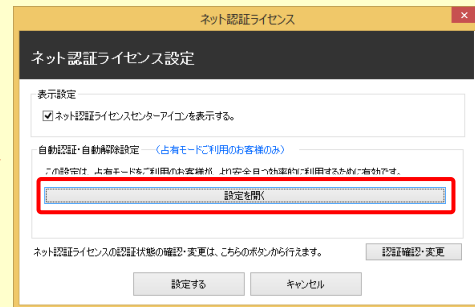
FCコンシェルジュを使用している場合



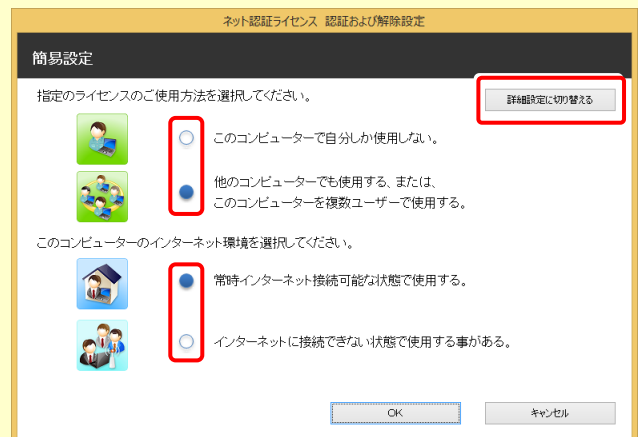
デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



FCコンシェルジュが表示されます。
[ご案内]の[ネット認証ライセンス]をクリックします。

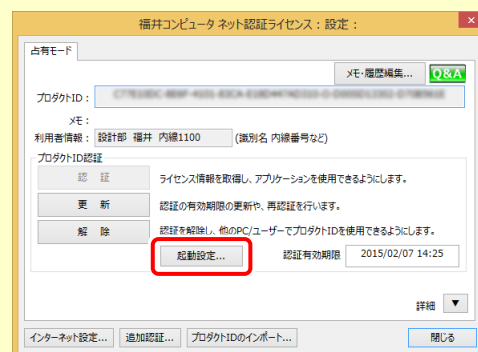


[設定を開く]を押します。



「使用方法」と「インターネット環境」を変更、または[詳細設定]で設定を変更します。変更後、[OK]ボタンを押してください。

FCコンシェルジュを使用していない場合



[起動設定]を押します。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。

【補足】 ネット認証ライセンスのQ&A

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。

Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

開き方

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

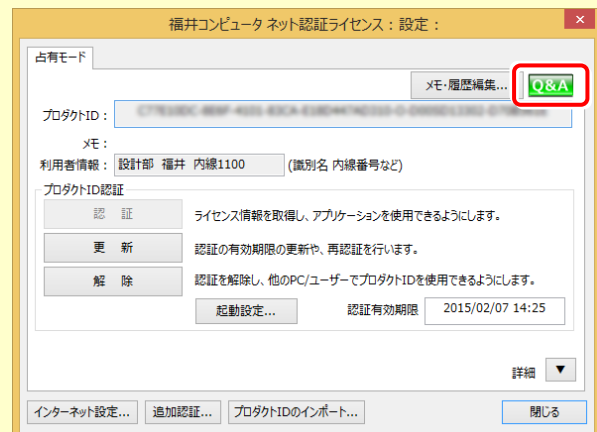


2. FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。



3. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



※ FCコンシェルジュを登録されていない場合、またはFCコンシェルジュがインストールされていない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

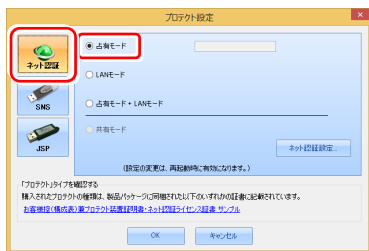


【補足】 起動時にプロテクトの選択画面が表示された場合は

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

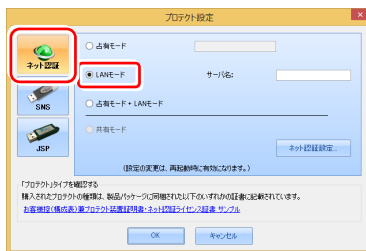
【ネット認証ライセンス(占有)】を使用

[ネット認証]-[占有モード]を選択



【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用

[ネット認証]-[LANモード]を選択



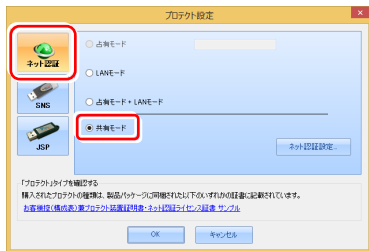
【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用

[ネット認証]-[占有モード+LANモード]を選択



【ネット認証ライセンス(共有)】を使用

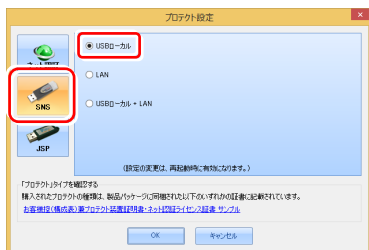
[ネット認証]-[共有モード]を選択



【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピューター名を入力してください。

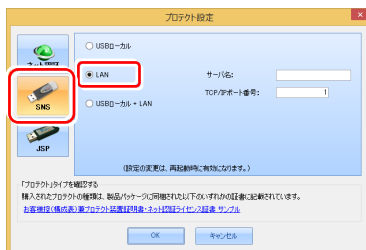
【SNS-W】を使用

[SNS]-[USBローカル]を選択



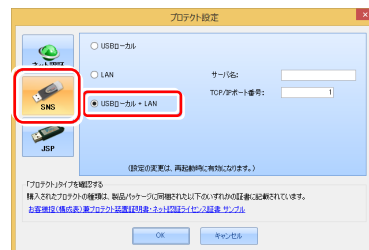
【SNS-LAN-X】を使用

[SNS]-[LAN]を選択



【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用

[SNS]-[USBローカル+LAN]を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」※の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。 ※ 25ページ参照

【補足】データをバックアップするには

EX-TREND武蔵の「工事データ」と「設定」のバックアップは、「インデックス」プログラムでおこなうことができます。

工事データのバックアップは、[ツール]－[一括処理]－[工事の一括バックアップ]コマンドでおこないます。

複数の工事を一括でバックアップすることができます。



設定のバックアップは、[ツール]－[設定のバックアップ]コマンドでおこないます。

各種設定をまとめてバックアップすることができます。



※ バックアップには時間がかかる場合があります。

※ CDやDVDに直接バックアップを取ることは出来ません。

一旦ハードディスク上にバックアップした後、お手持ちのCD・DVD書き込みソフトを使用して、バックアップデータをCDやDVDに書き込んでください。

【補足】FCコンシェルジュとは

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- Q&Aやマニュアルの閲覧、サポートの電話番号案内やリモートサポートなど、サポートコンテンツをご利用いただけます。
- ソフトウェアをアップデート(最新の状態に更新)することができます。

※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。



「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



5 入力専用ライセンスの初期設定

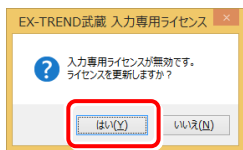
セットアップの最後に、入力専用ライセンスの初期設定をおこないます。

入力専用ライセンスを使用すると、ネット認証ライセンスを解除した状態、またはUSBプロテクトを外した状態でも、EX-TREND武蔵を使用することができます。ただしプログラムは、「入力専用」で動作します。「入力専用」では、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。

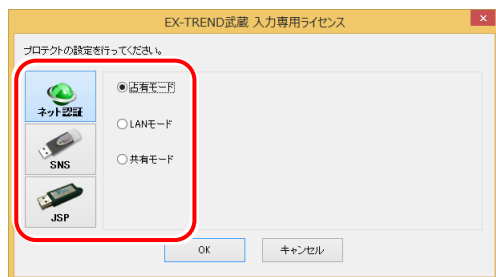
5-1. ライセンス情報の取得

「入力専用」で使用する前に、あらかじめネット認証ライセンスからライセンス情報を取得しておく必要があります。ネット認証ライセンスの場合は「認証済み」の状態に、USBプロテクトの場合はコンピューターに装着しておいてください。

1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



2. 使用するプロテクト (ライセンスの取得先のプロテクト) を選択して、[OK]を押します。



LANモードのプロテクトの場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



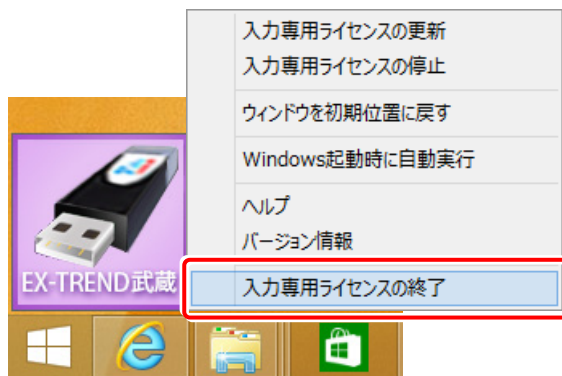
3. ライセンス情報が取得され、デスクトップ左下に「入力専用ライセンス」が起動します。



4. 入力専用ライセンスは、使用しないときには終了させておきます。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの初期設定は完了です。

使い方や機能などについては、P.37「【付録】入力専用ライセンスの使い方」を参照してください。

以上でセットアップは、すべて完了です

【付録】 入力専用ライセンスの使い方

「入力専用ライセンス」を使用すると、ネット認証を解除した状態、またはUSBプロテクトを装着しない状態で、EX-TREND武蔵を使うことができます。

ただし「入力専用ライセンス」でプログラムが動作している時には、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。

「入力専用ライセンス」の起動方法	本ページ
「入力専用ライセンス」の機能	38
「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには	39



入力専用ライセンス
(起動すると画面左下に表示)

「入力専用ライセンス」の起動方法

- ・ ネット認証ライセンス(占有)(共有)をお使いのお客様は、プロダクトIDを解除しておいてください。
- ・ USBプロテクト【SNS-W】【JSP-R】をお使いのお客様は、USBプロテクトをコンピューターから外しておいてください。
- ・ プログラムの起動前に、以下の手順で「入力専用ライセンス」を起動してください。

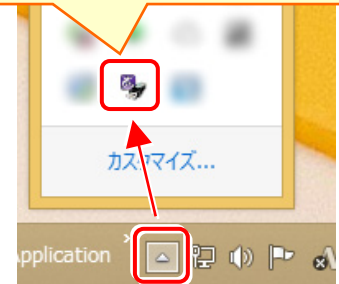
デスクトップに作成された
[入力専用ライセンス]アイコン
をダブルクリックして起動します。



起動中は、画面左下(※)に
[入力専用ライセンス]アイコン
が表示されます。



右下の通知領域にも
[入力専用ライセンス]アイコン
が表示されます。

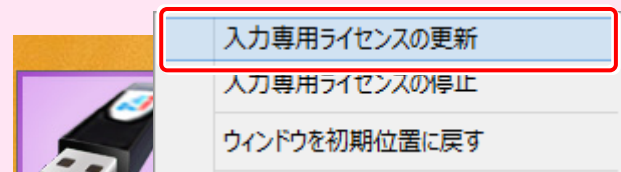


※ [入力専用ライセンス]アイコンは、ドラッグで任意の位置に移動できます。次回起動時には、移動した位置に表示されます。

注意

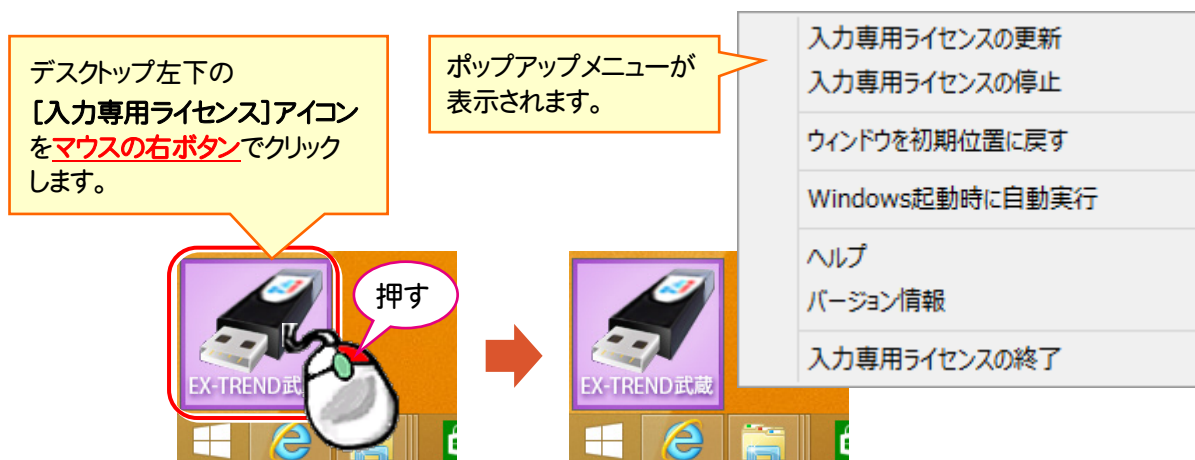
入力専用ライセンス 注意事項

- 「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」と、「入力専用ライセンス」の同時利用は出来ません。「入力専用ライセンス」が起動されている場合は、「入力専用ライセンス」が優先されます。
- バージョンアップやプログラム追加などで、ネット認証ライセンスの更新やUSBプロテクトの書き換えをおこなった場合は、「入力専用ライセンスの更新」が必要です。
「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューから、「入力専用ライセンスの更新」を実行してください。(右図)
- 「入力専用ライセンス」は、Windowsのログインアカウント毎に設定が必要です。
- 「入力専用ライセンス」で動作している場合、プログラムの[ヘルプ]－[バージョン情報]コマンドで表示される「ユーザーID」の末尾に、(入力専用ライセンス) と表示されます。
- 「Windowsの起動時に自動実行」をオンにすることで、次回ログイン時から自動で「入力専用ライセンス」が起動します。



「入力専用ライセンス」の機能

「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューのコマンドについて解説します。



【入力専用ライセンスの更新】

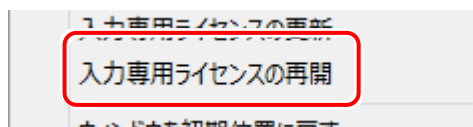
「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」から、「入力専用ライセンス」のライセンス情報を更新します。

バージョンアップやオプションを追加した場合に、実行してください。

【入力専用ライセンスの停止】

「入力専用ライセンス」を一時的に停止します。

再開は、**【入力専用ライセンスの再開】**で行います。



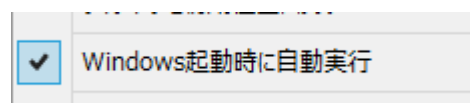
【ウインドウを初期位置に戻す】

「入力専用ライセンス」アイコンを初期位置(デスクトップ左下)に戻します。

【Windows起動時に自動実行】

「入力専用ライセンス」をWindowsの起動時に自動実行します。

オンの場合、コマンドの前にチェックマークが表示されます。



オフにするには、もう一度本コマンドを実行します。

【ヘルプ】

入力専用ライセンスの解説書(PDF)を開きます。

【バージョン情報】

「入力専用ライセンス」のバージョン情報を表示します。

【入力専用ライセンスの終了】

「入力専用ライセンス」を終了します。

「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには

「入力専用ライセンス」を使用している場合、成果物の印刷や出力は以下の手順でおこないます。

USBプロテクト (SNS-W) の場合

※ プログラムの再起動が不要なのは、USBプロテクト (SNS-W) のみです。

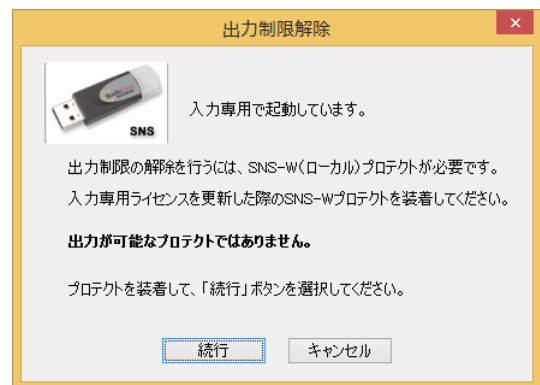
USBプロテクト (SNS-W) の場合は、出力コマンドの実行時 (施工計画書作成支援は本体起動時) にUSBプロテクトをコンピューターに装着することで、成果物の印刷や出力がおこなえます。プログラムを再起動する必要はありません。

1. 「入力専用」の状態、帳票の作成や印刷、データ書き込みなど出力をおこなうコマンドを実行すると、右の画面が表示されます。

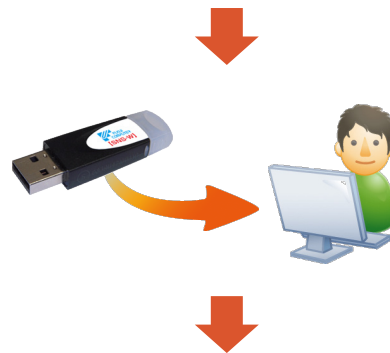
● CO2排出量計算

の場合は、USBプロテクト (SNS-W) を使用中でも、この方法で成果物の印刷や出力をおこなうことはできません。

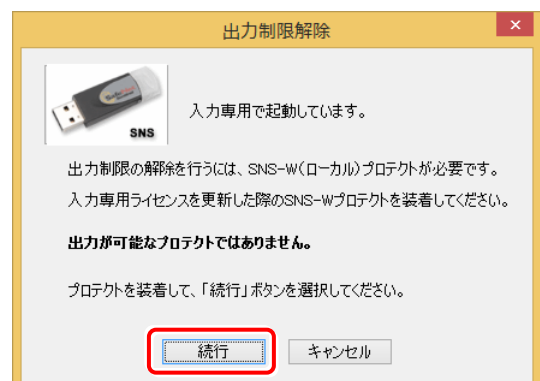
次ページのUSBプロテクト (JSP-R) と同様な手順で、成果物の印刷や出力をおこなってください。
(入力専用ライセンスの終了とプログラムの再起動が必要)



2. USBプロテクト (SNS-W) をコンピューターに装着します。



3. 「続行」を押します。成果物の印刷や出力が実行されます。



成果物の印刷や出力が実行されます。

ネット認証ライセンス（占有）(LAN)（共有）の場合

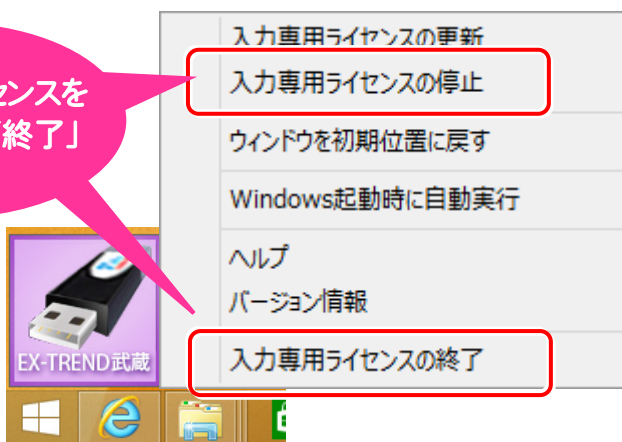
USBプロテクト（SNS-LAN）の場合

USBプロテクト（JSP-R）(JSP-LAN-R)の場合

上記プロテクトの場合は、一旦プログラムを終了して入力専用ライセンスを「停止」または「終了」します。その後、ネット認証ライセンスの認証やUSBプロテクトの装着をおこなってから、プログラムを再起動して成果物の印刷や出力をおこないます。

まず、データを保存して、プログラムを終了します。

入力専用ライセンスを「停止」または「終了」します



USBプロテクトの場合は

USBプロテクト(SNS-LAN-X)
USBプロテクト(JSP-LAN-R)
の場合は、そのままプログラムを再起動してください。

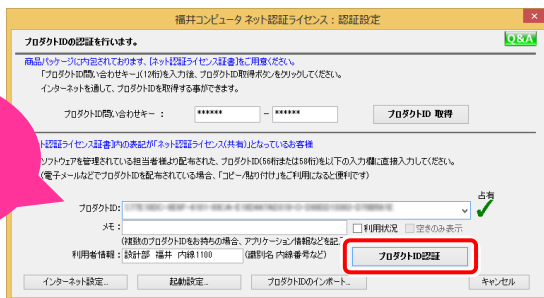
USBプロテクト(JSP-R)
の場合は、USBプロテクトを装着してから
プログラムを再起動してください。



プログラムを再起動します。

入力専用ライセンスの認証設定画面が表示された場合は、プロダクトIDの認証をおこないます。

プロダクトIDを
認証します



保存したデータを開き、成果物の印刷や出力をおこないます。